**旭岳の歴史について**

旭岳は標高2,291メートルで、北海道で最も高い山です。大雪山火山群の一部を形成する活火山です。山のふもとにある馬蹄形の火口は地獄谷と呼ばれています。火口には活発な噴気孔がたくさんあり、高温の水蒸気と硫黄ガスを噴出しています。

旭岳は長い年月にわたって山体崩壊と沈静化を繰り返してきました。その結果、かつて山の側面だった部分が現在は山頂となっています。旭岳の活動については記録が少なく、正確な年代を定めるのは難しいのですが、地獄谷は、約2,900年前に起こったと考えられる山体崩壊の結果生まれたものと言われています。

大雪山地域は約1,000万年前、オホーツクプレートと太平洋プレートが衝突し、巨大な圧力を引き起こして地下岩を溶かした際に形成されました。これにより火山が発生し、今日見られるような地形が形成されました。